



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
))))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 941 回(4 月 2 日)例会の記録

- 点 鐘 若松泰誼会長
- 合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
- 第 2 副 S A A 宮岡君、守屋君
- 卓話講師 元中部航空方面隊
司令官(空将) 清水正睦様
入会予定者
田中隆行様、坂本松男様
高岸陽子様
米山記念奨学生 金強重君
- ピジター

「過去を意味あるものにするために」

今日はある方の小学校の頃の話をしてします。
小学校 6 年生の時の彼女は、その時ブラジル最大の都市サンパウロにあるアメリカンスクールに通ってました。



出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30 名	28 名	93.33%	83.33%

会長の時間

若松会長



非常に良いニュースがどんどん入ってきておまして、びっくりしております。先週いっぱい桜が終わるかと思っております。まだ見頃でした、この分ですと来週の火曜日、花見の夜間例会までもつのではないかと考えております。

本日は卓話の清水様、どうか宜しくお願い致します。そしてゲストでお見えの、田中様、坂本様、高岸様、どうかゆっくり楽しんでいって下さい。先月の中谷増強委員長の一斉の掛け声から、我々のクラブも急に元気になりまして、本当に嬉しく思っております。しかしまだ残り 3 ヶ月ありますので、皆様に協力を頂き、もう少し頑張ってみたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

今日はある女性の小学校の頃のお話を致します。誰だか想像して頂きたいのですが、有名な女性です。

少女は新学期になった頃から世界史の教育書の後ろのページが気になって仕方ありませんでした。授業は古代ギリシャやローマのところから始まるんだそうですが、少女はチラチラと後ろのページを何度も何度も読んでいました。

それは「パール・ハーバー」という見出しの付いたページでした。授業が進んでルネサンス時代まで進んだ頃には「パール・ハーバー」の記述はほぼ暗記してました。

その内容はですね、悪魔的な世界征服の野心を持った日本が、平和を愛するアメリカ国民を如何に驚愕させたか。

野蛮な後進国が如何に自由と正義の国、アメリカに滑稽な闘いを仕掛けたか。そしてその野望は原爆によってくじけた。そんな事が書かれていました。

少女はそのクラスでたった一人の日本人でした。その授業がいつか来る事を考えるといつも憂うつになっていました。遂に「その日」は来ました。少女は仮病を使ってその日を休む事にしました。

病気の時、いつも母親が「パン粥」を作ってくれる。

朝、パン粥を食べながら母を騙している事、そして自分が「パール・ハーバー」の授業を休んだら、大好きな歴史の先生はどう思うだろう、そう考え

ると苦しくなり、やっぱり授業に行くことにしました。授業が始まりました。先生は、日本が資源に貧しい国であること、そして発展するためには外国から資源を輸入しなければならないこと、どんなに貧しい国でも貿易によって発展する権利があると言う事を話し始めました。

「あれ？教科書にはそんなこと書いていない」と少女は思います。先生の話は更に進みます。欧米諸国はアジアの国々が発展過ぎる事を好ましく思っていなかった。

その為に日本の資源輸入を困難にしていたこと。そして実はアメリカは欧州戦に参戦する契機を掴もうとしていた事を話してくれました。

「違う、教科書と違うことを先生は話している」。少女は先生が自分一人のためにその授業をやってくれている事に気がつきます。

最後に先生はこう言いました。「戦争は沢山の原因があるのに、原因を一つに決めてしまうのは歴史に対する暴力だ」授業が終わった時、少女は先生にお礼を言おうとしました。しかし、一言しゃべったら涙が一気に溢れそうでした。素晴らしい先生がいたものですね。

その後、長い時間が流れました。あのサンパウロのアメリカンスクールに通っていた少女は、国際関係の仕事、平和の創造に関わる仕事を夢見る様になりました。そしてエール大学で政治学を学んで国際政治学者となり、軍縮会議日本政府代表部の特命全権大使などさまざまな国際舞台で活躍されました。



2005年、我々国民の前で「小泉チルドレンの猪口邦子」として登場し、初当選、初入閣を果たしました。



一人の国際政治学者の背景には、幼少の頃のあんなステキな体験があったのだなあーとしみじみ思うことでした。

それにしましても昨今の時々、噂になる自虐教育、幼少時の受けた教育がその後の成長に大きな影響を与えた猪口さんのケースなどを考えると子供の教育会の先生方には、

未来に向けた子供たちに対して真剣に対応して頂きたいものであります。

最も大半の先生方は大変に真面目な先生方が殆どであります。

感謝状贈呈

米山記念奨学会より、米山記念奨学生カウンセラー中谷和美会員に対し感謝状が贈られました。(2012年4月～2013年3月までの一年間)



幹事報告

稲見幹事

1. 次年度地区補助金申請について
2. 青少年を育てる狭山市民会議運営委員及び理事選出以来について
3. 受贈会報 新狭山RC 所沢東RC

委員会報告

ゴルフ))))) 沼崎委員長)

来週9日に武蔵カントリークラブ笹井コースにて行われます親睦ゴルフ大会午前9:03スタートになっておりますが、是非お時間を作ってご参加頂ければ、若松年度がより盛り上がると思しますので、よろしくお願い致します。

会員増強))))) 中谷委員長)

現在の会員増強についてご報告したいと思します。約一月前クラブ協議会を開きまして、皆さんに会員増強をお願い致しました。それぞれ今年は創立20周年を迎えまして、それに伴いクラブとして年間目標を掲げ、会員全員が一丸となって、会員増強を行っていかうということで、目標人数は現在30名でございますが、それにプラス10名とし、会員数40名ということでお話をさせて頂きました。10名は無理だろうという雰囲気がこの壇上居てもひしひしと伝わって参りました。

でも皆さんが努力して頂き、今日現在、田中様、坂本様、高岸様の3名の方の入会がほぼ確定ということで、来て頂いております。もう1名、今日はお出でになっておりませんが、小室様から入会申込書を頂いております。後まだ名前は申し上げられませんが、ほぼ大丈夫ではないかなという方が2名で、6名の方が入会予定となっております。皆さんの努力のお陰で、こういう結果になっておりますが、10名という数字も達成できるのではないかと気がしております。手の届くところまで着ておりますので、後もう少し全員の皆さんが頑張るって頂き、候補者がおりましたら、お声掛けをして頂き、今日から実行に移して頂きたいと思します。より一層のご協力をお願い申し上げます。

《入会予定者から一言ご挨拶》

田中隆行様)

1935年東京生まれ、78歳でございます。現在は人間市の方に住まいを構えておまして、仕事も人間の方でやっております。どのような事かと言いますと、製薬メーカーが新しい薬を開発するに当たりますと、色々な実験を行います。約20年位かかるのですが、この中の最後の仕事、これは病院と製薬メーカーが一体となり行う、いわゆる臨床試験になります。この一端を我が社で受けております。

薬は非常に時間の掛かる、そしてまた費用も掛かる仕事でございますが、人類にはなくてはならないものですので、一生を通じてこの仕事はずっと続くと思っております。

今回縁がありまして、稲見さんとひょんなところでお会いし、このロータリークラブの事をお聞きしました。かねがね知ってはおりましたが、なかなか入会する機会がありませんでした。しかし今回ある程度時間が取れるようになったことが一つ、そして皆様方と一緒に色々な懇親を図れば良いと思ひ、是非入会致したいと思っております。趣味は旅行です。宜しくお願い致します。

坂本松男様)

私が尊敬させて頂いております寶積先生より再入会のお話を先月末に承りました。そして今朝電話で例会に誘って頂き、少し敷居が高く感じましたが、出席をさせて頂きました。

先ほどの稲見幹事の報告にもありましたように、これから理事会で審査をされるということですが、約6年ぶりに例会に参加させて頂きましたら、以前に勝るとも劣らない、良い雰囲気の中中央ロータリークラブでございました。今度来させて頂くときには、是非会員として参加させて頂ければと思っております。宜しくお願い致します。

高岸陽子様)

今日は卓話ではなく、ご挨拶をさせて頂きます。一昨年位から3回ほどお世話になりまして、ロータリークラブの皆さんのお人柄というものを、ずっと感じております。たまたま飲み会に誘って頂いた時に、素敵な方、宝積先生に「会員に」と言って頂きました。皆様の人柄もとても温かいということを感じていたので、前向きに検討しようと、飲み会のあとからよくよく考えておりました。そして私自身も変わるには、一歩踏み出した方が良くないかと思ひ、ただいま踏み出す準備はできております。まだ一歩が、もう一つでないの、是非一歩を踏み出すように頑張りたいと思ひます。

私の趣味はコンサートに行くこと、それもK-POPです。韓国語も3年位勉強しており、日常会話はあまり困らない位になりましたので、是非後程韓国語でお話できればと思っております。

「外来卓話」・・・・・・・・

講師紹介

小澤泰衛会員

本日、卓話をして頂く「清水さん」をご紹介します。

清水さんは、防衛大学(11期)を卒業され、指揮幕僚過程を修了後、更に米空軍大学高級幹部過程で学ばれております。

経歴としては、戦闘機F86F、F100J、F15Jのパイロット(総飛行時間3745時間)として小牧・小松・新田原・那覇基地に勤務され、那覇では飛行隊長として旧ソ連機へのスクランブル対応をされるが多かったそうです。

その後、空幕の幕僚として「防衛力整備」への参加、小松基地司令を経て、航空総隊防衛部長として、「阪神淡路大震災援助の指揮」、支援団体幕僚長時代には「天皇・皇后両陛下南米訪問の際の政府専用機運行指揮官」を、また、ブルーインパルス松島基地司令も務められております。

空将として、日本防空の中核である「中部航空方面隊司令官」を務められた後、平成13年6月に航空自衛隊を退官されております。

退官後は平成23年まで川崎重工及び総合商社・双日の顧問をされておられましたが、現在は、「全国自衛隊父兄会監事」、「空自退職者団体つばさ会人間支部長」としてボランティア活動に関わっておられます。

本日の卓話は、昨今我が国で大きな関心を集めた「オスプレイの沖縄配備」に関するお話をして頂くことにしております。宜しくお願い致します。

『オスプレイV-22の沖縄配備』

元中部航空方面隊

司令官(空将) 清水正睦様



1 はじめに

沖縄在留の米海兵隊普天間基地へのオスプレイ配備はその安全性に問題ありとの世論の動きで反対運動が起こったが岩国経由で昨年10月普天間基地に配備された。この問題を複雑にした背景は単なる老朽化した航空機の機種更新という事ではなく極東の軍事的環境変化の中で米国の主として経済的理由による軍縮に関わる戦略変更と日米安保の今後の在り方にも影響がある問題を含んでいる

ことである。そもそもこの問題が起こった経緯は何か、オスプレイとはどんな航空機なのか、沖縄配備の意義はなにか等について短時間ですがお話をしてみたい。



2 問題と開発の経緯

米側は普天間基地で運用していたCH-46ヘリコプターの老朽化に伴い新鋭のV-22への機種更新の計画を前の自民党政権時代から日本政府に対して打診していた。当時は普天間基地の辺野古への移転の話が進んでおり海岸を埋め立てV字型にできる滑走路が前提であれば市街地を避けての飛行パターンが可能でありこの問題はこれ程大きくは成らなかった可能性がある。民主党政権ができ鳩山総理の発言から県外移設のぶり返しから辺野古移転が棚上げになってしまい問題をより難しくした。以前からその安全性に問題ありのオスプレイが沖縄配備の直前に2機事故を起こし更に問題を大きくした。現在、民主党政権から安倍自公政権になり頓挫していた普天間基地の辺野古移転が再び動き出した感がある。

オスプレイの名前の由来は英語で鷹の仲間の「みさご」からきており獲物をとるため空中にホバリング（空中停止）できることからきている。オスプレイはヘリコプターの利点である垂直離着陸、ホバリング、超低空での地形追従飛行と通常の固定翼機のように高速飛行と長い後続距離を兼ね備え持つ航空機として開発された。VX-3, VX-15というティルトローター（回転翼を機体に対して傾ける）式の研究開発機を経て1981年12月当時のヘイグ国防長官の発表から翌年12月に4軍が使用する共同の「統合垂直離着陸研究」JVXとして開発が始まった。1989年3月に初飛行後主として予算の影響で開発は遅れたが中止になることはなかった。V-22は試作機の段階で2回機体の欠陥で大事故を起こしたものの1994年に量産が認められ艦上運用型、空軍仕様型などの改修がおこなわれたがこの間に2度の大事故を起こしている。現在V-22の量産は続けられており最終的に458機のV-22を調達する計画で量産された機体はすでに米海兵隊から順次海軍や空軍へも配備が決まっている。2007年12月からイラク西部の戦闘作戦に初めて戦闘作戦に参加している。

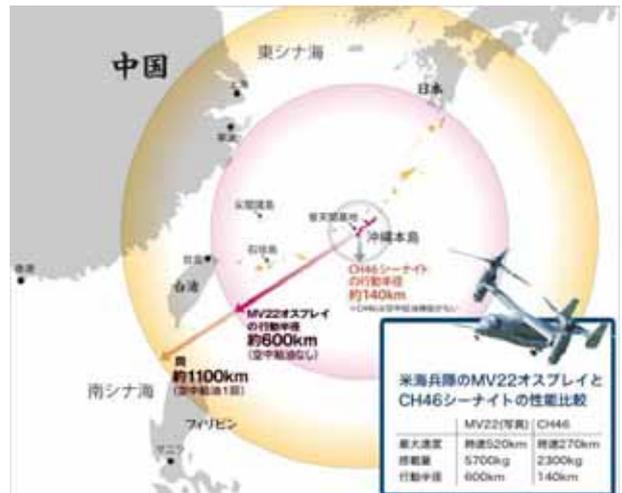
3 オスプレイとはどんな航空機なのか

簡単に言えば「ヘリコプター・モード」と「航空機モード」の二つの特性をもち、大きな3枚の「プロップ・ローター」と呼ばれる



回転翼がエンジンと共に固定翼の両端に備わっている。これを離着陸時には上向きに、上空飛行時は前方に倒して通常の飛行機のように高速で飛行する。この回転翼とエンジンの角度変更は毎秒8度で動くため、90度の変更には11秒程度かかることになる。離着陸は滑走路が短く搭載量が少ない時は垂直に離着陸できるが多くは滑走路があればエンジンとローターを垂直よりも前方の75度や60度に傾けて回転翼と固定翼の両方の揚力を得て上昇離陸及び短距離進入降下を用いた短距離離着陸（STOL）を採用することが多い。問題はローターを完全に前方にしたままでは地面をこすってしまうことである。

オスプレイは現用のCH-46型ヘリコプターの後継機であるが両者を比較すればその性能の差は歴然としている。速度は巡航と最大でCH-46の約220km/h～270km/h、V-22は約490km/h～520km/hと2倍近く速く、後続距離に至っては約700kmに対して約3900km、行動半径は約140km（兵員12名搭載時）に対して約600km（兵員24名搭載時）と2倍の搭載量で4倍以上長い。単純に速度・搭載量・行動半径を掛け合わせれば16倍も性能が向上することになる。沖縄から尖閣諸島まで直線で約450kmであり、完全にその行動半径内で短時間に機動展開が可能である。更にV-22は空中給油が可能であり1回の給油で中国大陸の沿岸をカバーする等その潜在能力による紛争抑止力は絶大である。今年の防衛白書でも中国の軍拡とりわけ海洋進出が問題視されている今日、我が国の防衛と極東アジアの安定に必要である。



現在国内世論ではオスプレイは危険と云われているが実際はどうなのか。今までに開発段階で4機、量産型で4機の大事故を起こしており、その事故率は10万飛行時間当たり1.93と言われている。今回岩国に12機が陸揚げされ、その後予定の普天間基地に無事配備された。単純に年間12機で5,000時間（1機あたり年間約420時間）飛行すると10年で1機大事故を起こす計算になる。輸送機としては飛行時間を少な目に

見積もってあるし、事故も普天間に展開するとしても市街地に墜ちるとは言い切れないが、これが安全か危険かは難しい判断である。

4 沖縄配備の意義

以上の観点からオスプレイの沖縄配備はその必要性を丁寧に国民とりわけ沖縄県民に説明し理解を求める責任が政府に求められる。米軍は極東とりわけ中国の台頭に伴う脅威の増大の中、経済的理由により大幅な軍縮を求められており、前方展開部隊である沖縄在駐海兵隊の再編でグアム移転の計画が進んでいる。V-22の配備はその穴を埋める兵力の短時間機動展開の一環を担うものであり戦略的意味合いが強い。マスコミもただ不安を国民にあおるだけでなく冷静に報道する必要がある。一方で周りが市街地に囲まれた普天間基地での運用はやはり現段階のオスプレイの飛行特性から安全性に疑問を持つ。離着陸時の飛行経路は市街地を避けるべきであり、市街地の上空を飛行しない経路のある（海からの経路が最良）他の基地を考えるべきである。そういう意味で辺野古案は現段階では最良案である。冒頭にも書いたとおり普天間基地の移転が暗礁に乗り上げている時に、既成のオスプレイの配備を強行する余り事故等により日米安保に亀裂が入らないよう願うところである。現在、尖閣諸島の国有化以降、中国による尖閣列島に対する強硬な領海、領空侵犯が連日行われている。日本としてはこれらの挑発にのることなく且つ毅然とした対処が必要であるが一旦有事になればオスプレイは短時間に尖閣諸島に戦力を空輸するのに最適の輸送手段である。陸自も装備の検討を始めていると報道されている。その意味でオスプレイの沖縄配備は尖閣諸島に関わる日中衝突の大きな抑止力になっている。



(航空機モードで機動する V - 22)



- 若松君 本日は、元中部航空方面隊司令官・清水様、卓話よろしくお願い致します。楽しみです。ゲストの皆様、本日はようこそ、楽しんで行って下さい。
- 稲見君 元中部航空方面隊司令官(空将)・清水正睦様、今日のお話楽しみです。理事会の承認を得て入会される田中様、坂本様ありがとうございます。高岸様いつもお世話になります。是非入会して下さい。
- 江原君 元中部航空方面隊司令官・清水正睦様お忙しい中ありがとうございます。本日の卓話楽しみにしていました。何卒よろしくお願い致します。
田中様、坂本様、高岸様、本日はようこそお出で下さいました。本当に嬉しいです。これからもよろしくお願い致します。
- 竇積君 田中さん、高岸さん、坂本さんようこそ！仲良く楽しくやりましょう。
- 栗原(憲)君 元中部航空方面隊司令官(空将)・清水正睦様、ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願い致します。
- 宮野君 清水さん、お久しぶりです。今日は卓話楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。
- 中谷君 元中部航空方面隊司令官・清水正睦様、本日の卓話よろしく申し上げます。又、この度入会して頂く予定の田中様、坂本様、高岸様、本日は用こそお出で下さいました。
- 奥富君 休みが多くすみません。
- 小澤君 清水様、当クラブにおける卓話をお願いしたところ、快くお引き受け頂き、心より感謝しております。領空の防衛に関するお話しを可能な範囲でして頂ければ幸いに存じます。よろしくお願い致します。なお、今日は誕生祝を頂きました。毎年なのですが、4月第1週の例会日は嬉しいような、寂しいような複雑な気持ちになる日です。
- 柴田君 高岸嬢のクラブへの入会があり大変喜んでいきます。これからのロータリーライフを楽しんで下さい。
- 会員誕生祝 江原君 小澤君 田中君
夫人誕生祝 竇積君 益子君
結婚記念日 片山君 柴田君

)
)
)
)
)
)

